

開講期	2025年度後期			単位数	2.0単位
科目[授業]名	4026 社会教育論			開講形態 (隔週 偶数 = 隔週2コマ)	週間授業
種別	条件付			定員	
履修可能学年	全学年履修可	重複履修	○	全学開講	○
曜日時限	木曜3限				
教室	G205教室				
代表教員	岩本 陽児				
担当教員	岩本 陽児				
テーマと到達目標	前期木曜3限「生涯学習論」を履修した学生を対象に、生涯学習の日本的伝統である公民館事業への理解を深めることを目的に開講する。すなわち、川崎市の市民提案型の公民館講座の様式を用い、川崎市立麻生市民館岡上分館での提案を想定した3年連続の5回連続講座のうちの初年次分についてデザインし、発表する。地域を知り、コミュニケーションのスキルを高め、社会教育主事職のノウハウを理解する。(社会教育主事資格必修科目)				
概要	学生主導のアクティブな地域連携の授業である。この授業は受講生に、夏休みに予備調査した地域の社会教育・生涯学習施設の講座情報を報告してもらったところから出発する(課題は、前期生涯学習論最終回後に連絡する。なので、生涯学習論の過年度履修生は個別にiwamoto@wako.ac.jpに要連絡)。次に、和光大学に隣接する岡上地区の地域特性を理解した上でどのような学習ニーズが潜在しているかを見極め、実現可能性の高い学級・講座をプログラムする。原案の魅力がより高まるよう報告・検討を経て、最後に受講生募集チラシと提案を完成させる。岡上分館での発表を予定している。				
対面科目/オンライン科目	対面科目				
授業計画				担当教員(複数の教員が担当する場合のみ記載)	授業方式
第1回	(講師出張のため休講)				対面授業
第2回	授業ガイダンス。学生発表の順番決め。次週の連絡。				対面授業
第3回	川崎市立麻生市民館岡上分館見学(現地集合)				対面授業
第4回	夢の社会教育講座、第一次構想発表				対面授業
第5回	夢の社会教育講座、第一次構想発表				対面授業
第6回	学外授業: 夢の社会教育講座、第一次構想発表@岡上分館				対面授業
第7回	チラシの作り方(講義)と質疑				対面授業
第8回	Reading Week(教室での授業はありません)				対面授業
第9回	夢の社会教育講座、チラシ第二次構想発表				対面授業
第10回	夢の社会教育講座、第二次構想発表				対面授業
第11回	夢の社会教育講座、第二次構想発表				対面授業
第12回	夢の社会教育講座、第二次構想発表				対面授業
第13回	夢の社会教育講座、第二次構想発表				対面授業
第14回	学外授業: 夢の社会教育講座、第二次構想発表@岡上分館				対面授業
第15回	最終版チラシと様式および、自己評価を書き添えたレポート持参して、印刷製本。				対面授業
成績評価の基準	遅刻・欠席をしない。レジュメを作ってプレゼンテーションをする。講座の学習目標が明確であること。振り返りの最終レポートは2000字以上とし、引用情報を適切な注とすることを要件とする。読んで楽しい気持ちになるように書くこと。平素の成績50、最終レポート50とする。出席6割以上を成績評価の対象とする。				
履修にあたっての留意事項	この授業は問題解決型の応用編なので、前期『生涯学習論』単位取得済みの学生のみ受講可。イニシャルレポート(冒頭報告)がある。夏前に掲示板を確認すること。授業報告時に指摘された箇所については、次回の報告までに改良を加える必要があるため、自宅での学習時間確保が大切となる。 ポータルは使用しない。授業連絡はすべて、メイリングリストkron@wako.ac.jpを通じて行う。見落とさないこと。あらかじめ了解願いたい。				
オンライン授業方式(同時双方向型・オンデマンド型)の詳細					

【種別】人数制限（抽選）授業の優先条件	
---------------------	--

◆教科書・教材

教科書以外に必要な教材費用	身近な公民館等の調査にかかる交通費等は、自己負担。		
教科書		教科書(ISBN)	
参考文献	雑誌『月刊社会教育』旬報社。『東京の社会教育 歴史と現状』エイデル出版社 2016ほか。授業中に指示します。	参考文献(ISBN)	